

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

'17-'19 アプリコット F 1 / F 1 A (TCF4713系, 4713AM系 他)・
 '17-'19 アプリコット F 2 / F 2 A (TCF4723系, 4723AM系 他)・
 '17-'19-'21 アプリコット F 3 / F 3 A (TCF4733系, 4733AM系 他)・
 '17-'19-'21 アプリコット F 3 W / F 3 A W (TCF4833系, 4833AM系 他)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

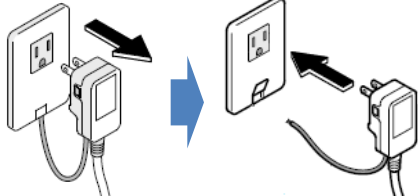
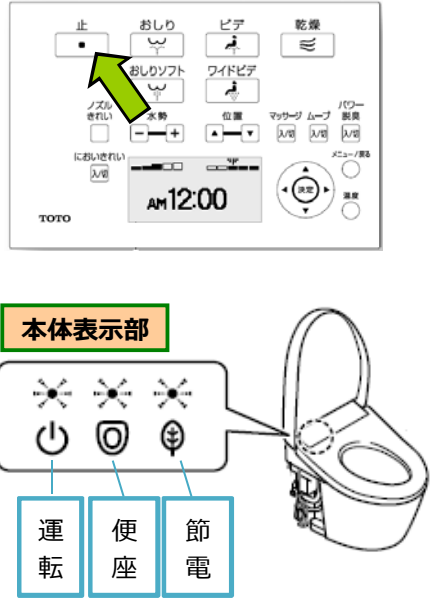

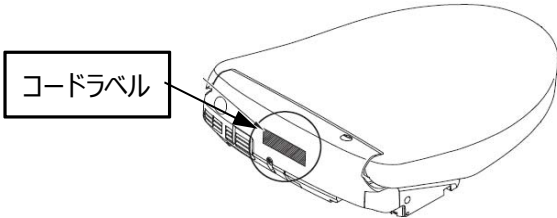
正 規 品	(タ 特 1 イ プ) 1	(タ 特 2 イ プ) 2	正 規 品	(タ 特 1 イ プ) 1	(タ 特 2 イ プ) 2
(タ 特 3 イ プ) 3	(タ 特 4 イ プ) 4	(タ 特 5 イ プ) 5	(タ 特 3 イ プ) 3	(タ 特 4 イ プ) 4	(タ 特 5 イ プ) 5

<<設定方法>>

- ◆設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOMメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
- ◆作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

注：基板には触らないようにお願いします。人体の静電気で破壊するおそれがあります。




手順	リモコン特殊コード切り替え方法 (リモコン側)																																																								
1		<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <p>◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p> <p>ご注意!! 基板には触らないようにお願いします。 人体の静電気で破壊するおそれがあります。</p>																																																							
3	 <p>◎：つながったまま ×：切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J P 1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>J P 2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>J P 3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>J P 4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	J P 1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	J P 2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	J P 3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	J P 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<p>ご注意!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。 <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってノリで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
J P 1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
J P 2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
J P 3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
J P 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4		<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <p>ご注意!! 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p>																																																							
5		<p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（ウォシュレット本体側）																																													
6		<p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度差し込む。 （イニシャル動作をする。）</p> <p>◆設定中の製品以外は電源を投入しないこと。</p>																																												
7		<p>ウォシュレット本体のイニシャル動作後 （電源が「入」になってから2分以内に）、</p> <p>リモコンの  ボタンを「10秒以内に5回」押す。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。</p> <p>本体ランプ表示一覧</p> <p style="text-align: right;">●…緑点滅 ▲…橙点滅 ×…消灯</p> <table border="1" data-bbox="703 701 1505 925"> <thead> <tr> <th>設定コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>節電</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table>	設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●	便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×	節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																				
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●																																				
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×																																				
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲																																				
8		<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>																																												

◆リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

《参考》

■下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

- ①リモコン  を10秒間押す
- ②液晶画面より  ボタンで『本体 連立設定確認』を選び、 ボタンを押す
- ③ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅（『手順7』の表に従って点滅します。）